

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	47	利用者様へのレクリエーションや外出支援等のサービスを、より向上させる必要がある。	重度化している人が少ないというメリットを生かし、今後も個人の楽しみを作ることや、利用者それぞれのニーズを引き出した支援に取り組む。	利用者様に日々の活動についての満足度調査を実施し、サービス向上委員会で検討する。その結果をレクリエーション等の内容に反映させ、退屈で同じような活動が続かないように改善を図る。	6ヶ月
2	6	身体拘束適正化に向けて、施設の現体制をチェックし、不十分な点については整備し、改善しなければならない。	代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解し、玄関の施錠を含めて身体拘束を一切しないケアに取り組む。	身体拘束についての職員研修を実施して指針を再確認するとともに、身体拘束廃止委員会を3か月に1回以上開催し、適正化に向けた検討を続けていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。